

スペイン・バルセロナにおけるテロ事件

～ 車両を凶器として利用したテロ事件の発生 ～

【事件概要 1】 (各種報道による)

平成29年8月17日午後5時(現地時間)頃、スペインバルセロナの繁華街において、少なくとも13人が死亡、100人以上が負傷

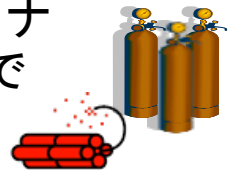


▼現場は、スペイン東部バルセロナ中心部で、犯行にはワゴンタイプのレンタカーが使用された。

車両は、歩道を蛇行しながら猛スピードで暴走し、観光客ら通行人を次々にはねたものとみられている。

【事件概要 3】 (各種報道による)

平成29年8月16日夜(現地時間)バルセロナから約200キロ離れたアルカナルの民家で爆発が発生し、2人が死亡



関連

▼現地警察は、大量のガス缶などを押収、この民家が隠れ家兼爆発物製造所で多発テロを画策し爆弾を製造しようとして誤爆したと指摘している。

▼テロ準備の露見を恐れて犯行を急ぎ、車による計画に切り替えた可能性があるともみている。

【事件概要 2】 (各種報道による)

平成29年8月18日未明(現地時間)バルセロナから約120キロ離れたリゾート地カンブリスにて車両が歩行者に突っ込み1人が死亡、6人が負傷



レンタカーを取り扱う事業者の方々は、不審者による借用時の通報及び身分確認の徹底をお願いします。

爆発物原材料となる化学物質を取り扱う事業者の方々には、不審購入者の通報、身分確認、盗難防止の徹底をお願いします。